

阿見町道の駅整備事業検証委員会報告書（素案）
〈答申〉

令和3年●月●日

阿見町道の駅整備事業検証委員会

委員長	香川 眞
副委員長	牧山 正男
委員	橋本 英之
委員	新田 孝司
委員※	猿田 文彦
委員	宮寄 眞二
委員	国井 武

※藤田 幹雄

平成31年1月29日

～令和2年3月31日在任

1. 背景と委員会の設置

平成 30 年 3 月 20 日に就任した千葉繁町長は、阿見町が平成 22 年度から進めてきた、道の駅整備の現計画について、将来のまちづくりを見据え、一度立ち止まって、慎重に再検討する必要があるとの理由から、平成 29 年度までの阿見町追原地区における道の駅の整備及び運営準備に関する事業の検証を行うため、平成 31 年 1 月 29 日に阿見町道の駅整備事業検証委員会（以下「検証委員会」という。）を設置し検証に着手した。

当検証委員会は、阿見町道の駅整備事業検証委員会要綱にその趣旨と所管事項が示されているが検証の前提条件として、次のとおり認識するものである。

◇道の駅を再検討（凍結）する判断は、町長選挙を経て意思決定された政治判断であり、その適否は当検証委員会の検証事項には当たらない。

◇道の駅自体の要・不要については、道の駅凍結に至る平成 29 年度までの事業過程の検証を委ねられた当検証委員会としては判断できるものではない。

◇今後、凍結した道の駅を進めるかどうかについては、町長が判断するものである。

◇委員会の構成

委員長 香川 眞【流通経済大学名誉教授】

副委員長 牧山 正男【茨城大学農学部准教授】

委員 橋本 英之【橋本会計事務所】

委員 新田 孝司【(一社)茨城県建築士会 稲敷支部長】

委員※ 猿田 文彦【(一財)茨城県建設技術公社 常務理事】

委員 宮寄 眞二【元(株)JTB 茨城南支店営業担当課長】

委員 国井 武【阿見町金融団(常陽銀行阿見支店長)】

※藤田 幹雄【(一財)茨城県建設技術公社 常務理事】

平成 31 年 1 月 29 日～令和 2 年 3 月 31 日在任

2. 阿見町追原地区における道の駅整備事業の経緯概要

平成 22 年度	役場内で検討を開始
平成 23 年度	道の駅準備検討委員会
平成 24 年度	基本構想策定
平成 26 年度	基本計画策定（予定地・追原地区）
平成 27 年度	現況測量・基本設計等・埋蔵文化財試掘調査
平成 28 年度	用地測量等・指定管理予定者公募（ファーマーズ・フォレストに決定）
平成 29 年度	実施設計，用地買収，埋蔵文化財発掘調査

3. 町長からの諮問内容

当委員会に千葉町長から示された具体的な諮問内容は、次のとおりである。平成31年1月29日の第1回検証委員会から令和3年●月●日まで合計8回の検証委員会を開催し検証した。(各回の記録は、別添資料のとおり。)

(1) 場所について

- ・追原地区以外に適切な候補地があるのではないか。

(2) 整備時期について

- ・今整備する時期なのか、農業等の振興を図ったうえ、特産品を生み出してから取り組むべきではないか。

(3) 建設費について

- ・20億円以上の建設費(整備費)について、規模やグレードなどは妥当なのか。

(4) 運営体制について

- ・JAや商工会、地元生産者が主体となった運営方法もあるのではないか。

(5) その他、道の駅の整備及び運営準備に関し、必要と認められる事項について

以下項目のみ表示

4. 検証の結果

(1) 場所について

追原地区以外に適切な候補地があるのではないか。

(2) 整備時期について

今整備する時期なのか、農業等の振興を図ったうえ、特産品を生み出してから取り組むべきではないか。

(3) 建設費について

20億円以上の建設費(整備費)について、規模やグレードなどは妥当なのか。

(4) 運営体制について

JAや商工会、地元生産者が主体となった運営方法もあるのではないか。

5. 検証結果に基づく提言（総括）

【別添】

- ◇委員会の議事概要
- ◇検証資料

※非公開資料は添付しない

※別添資料を含めるとかなりのボリュームになる